

SEA2026のご案内（第1報）

テーマ：迷い続ける現場のための SEA –言語聴覚士と教員が共に学ぶ2日間–

きこえない・きこえにくい子どもたちが、学び、遊び、日々成長している現場。その現場で子どもたちの成長を見守り、支えている言語聴覚士と教員。子どもたちの健やかな成長という目的を共有する私たちが共に学ぶ2日間となるよう企画しました。

日時：2026年8月8日（土）10:00–9日（日）15:00（予定）

場所：群馬パース大学

アクセス：[群馬パース大学](#)・高崎問屋口駅（新幹線高崎駅の隣の駅です）より徒歩4～10分

参加費：5000～6000円を予定

プログラム：詳細については現在検討中です！

0) 教育オーディオロジーUpdate：メーカーからの情報提供

メーカーごとに小児や教育オーディオロジーと関連のある最新機器について10～15分程度でプレゼンをしていただいた後に、それぞれのブースで機器展示を行ってまいります。

1) 北義子先生による講演（演題は調整中）

言語聴覚士として国立障害者リハビリテーションセンターにおいて臨床・教育の両面で中心的な役割を担われ、日本における聴覚障害児支援の第一線で長年ご活躍されて北義子先生にご講演いただきます。乳幼児期から学齢期にかけての子どものきこえ・ことば・コミュニケーションの発達において大事なことをお話いただく予定です。

2) ことばやコミュニケーションの発達について考える！

ことばやコミュニケーションの発達に関して、普段の実践の中で疑問に思っていることや悩んでいることなど、グループに分かれて意見を交換します。

3) これでわかる聴力検査・測定のコツ！

3つのコースを設定し、検査機器を触ったり・自身が被験者になったりすることで、検査の手法や解釈の方法をより深く学ぶ機会を設けました。

- ① **Aコース**：純音聴力検査の方法と語音聴力検査の方法について、子ども（主に学齢期以降）に実施することを前提として、実際に機器を操作しながら基本的な内容を学びます。また、ベテランの言語聴覚士や教員の先生方から検査の手引き書などには載っていないようなコツを教えてください。

- ② **Bコース**：BOA, VRA, 条件付けなど乳幼児を対象とした聴力検査について、検査の手引き書などには載っていないような計測時のコツや、結果の説明の仕方のコツなどを学びます。また、ベテランの言語聴覚士や教員の先生方に講師を依頼し、実践を踏まえた内容をお話いただきます。
- ③ **Cコース**：インピーダンスオージオメトリ, OAE, ABR, ASSRなどの他覚的聴力検査について、自身も体験しながらその意味を理解します。あわせて、それらの結果を臨床の場どのように活用するのか（保護者へのフィードバック, 学校への伝え方なども含む）について議論する予定です。

4) 全体講演：日本教育オーディオロジー研究会会長 平島先生のお話

言語聴覚士に期待すること, 教員に期待すること, 及び両者に期待することを会長のお立場からお話いただきます。

5) グループワーク：リフレクション

2日間で学んだことをグループでシェアします。

※なお2日目の最後に総会を予定しています。